

第73回全国高等学校ビジネス計算競技大会  
青森県予選会  
日時：令和8年6月6日(土)  
会場：青森商業高校

【珠算の部】

- 団体  
第一位 三沢商業高校  
第二位 八戸商業高校



●個人

- 第一位 三沢商業高校 坂澤 里優  
第二位 三沢商業高校 沢居 悠希  
第三位 八戸商業高校 田村 美都姫  
第四位 下山学園高校 澁谷 妃鞠  
第五位 三沢商業高校 小笠原 遼  
第六位 八戸商業高校 清水 心  
三沢商業高校 小野寺 星七

【電卓の部】

- 団体  
第一位 三沢商業高校  
第二位 八戸商業高校  
第三位 三戸高校



●個人

- 第一位 八戸商業高校 千葉 瑠璃  
第二位 三沢商業高校 宮部 初音  
第三位 三沢商業高校 能方 永真  
第四位 三沢商業高校 小西 結月  
第五位 三沢商業高校 新田 優希斗  
第六位 三沢商業高校 石川 悠玖

第38回全国高等学校情報処理競技大会青森県予選会  
日時：令和8年6月13日(土)  
会場：弘前実業高校

●団体

- 第一位 弘前実業高校  
第二位 三沢商業高校  
第三位 八戸商業高校



●個人

- 第一位 弘前実業高校 佐々木 柊哉  
第二位 弘前実業高校 三上 蓮  
第三位 八戸商業高校 大石 晃士  
第四位 弘前実業高校 藤田 晃帆  
第五位 三沢商業高校 小田 瑞貴  
第六位 弘前実業高校 工藤 貴

第42回全国高等学校簿記競技大会青森県予選会  
日時：令和8年6月20日(土)  
会場：青森商業高校

●団体

- 第一位 三沢商業高校  
第二位 弘前実業高校  
第三位 青森商業高校



●個人

- 第一位 弘前実業高校 田中 聖輝  
第二位 三沢商業高校 須藤 陽斗  
第三位 三沢商業高校 遠藤 依央  
第四位 青森商業高校 佐川 未咲  
第五位 三沢商業高校 坂本 心音  
第六位 三沢商業高校 和田 音

第73回全国高等学校ワープロ競技大会青森県予選会  
日時：令和8年6月20日(土)  
会場：八戸商業高校

●団体

- 第一位 三沢商業高校  
第二位 八戸商業高校  
第三位 青森商業高校



●個人

- 第一位 三沢商業高校 小山石 優風  
第二位 三沢商業高校 土橋 虎太郎  
第三位 八戸商業高校 小比類 泉望  
第四位 八戸商業高校 永田 陽太  
第五位 三沢商業高校 北村 彩智花  
第六位 三沢商業高校 中山 優風  
正確賞 三沢商業高校 小山石 優風

全国大会に向けての抱負

【ビジネス計算競技 珠算の部 団体】  
私たちは、8月4日に横浜武道館で行われる第73回全国高等学校ビジネス計算競技大会に出場します。これまで部員全員で切磋琢磨しながら、毎日の練習に励んできました。全国の舞台では、一瞬の油断も許されませんが、支えてきてくださった方々への感謝を胸に、個人でも団体でもベストを尽くします。全員で上位入賞を果たせるように頑張ります。応援よろしく願います。

【ビジネス計算競技 電卓の部 団体】

私たちは第73回全国高等学校ビジネス計算競技大会青森県予選会で団体優勝し、全国大会への出場を決めました。これまで遠征や合宿を通して技術力と精神力を磨き、多くの問題をより速く正確に解けるよう日々練習を重ねてきました。全国大会では会場の雰囲気、緊張感、一人ひとりが練習の成果を発揮し、支えてくださった皆様への感謝の気持ちを胸に、悔いのない最高のパフォーマンスを目指して全力を尽くします。



【ビジネス計算競技 珠算 個人】

八戸商業高等学校 2年 田村 美都姫  
今回、全国大会への切符を手にすることができ、大変うれしく思います。私は小学1年生からそろばんを続けてきました。これまでは、楽しいことばかりではなく、思うような結果が出ず悔しい思いをしたこともありましたが、しかし、そのような経験も、私がだんなにそろばんを好きになり、成長するための大切な道りだったと感じています。支えてくださった先生方や家族、仲間への感謝の気持ちを胸に、大会当日は自分の頭と指を信じ、これまで積み重ねてきた努力とそろばんへの愛をすべて出し切れるよう全力で挑みます。応援よろしく願っています。

【ビジネス計算競技 珠算 個人】

下山学園高等学校 2年 瀬谷 妃鞠  
第73回高等学校ビジネス計算競技大会青森予選会の個人総合で4位、種目別暗算競技で2位、読上算競技で3位になることができました。  
練習してきたことが発揮できたところと、去年の反省を活かすことが出来なかったところがありました。全国大会に出場できるので、今回の大会の反省をつなげ、全国大会でも入賞できるように頑張ります。

【ビジネス計算競技 電卓 個人】

八戸商業高等学校 3年 千葉 瑠葉  
県予選会において、昨年に引き続き全国大会への出場権を獲得することができ、大変光栄に思います。この成果は、自分自身の努力はもちろん、日々切磋琢磨してきた仲間や、ご指導くださった顧問の先生方の支えがあつてこそ得られたものだと感じています。日頃の練習では、目標である正答率100%と丁寧な数字を常に意識しながら、効率的な問題の解き方や種目別競技の対策にも力を入れて取り組んできました。今年は昨年に続いての出場となるため、大会の雰囲気へのまれることなく、これまで積み重ねてきた練習の成果を十分に発揮し、自分の力を出し切りたいと思います。そして、全国大会出場メンバー全員で個人入賞を果たせるよう、最後まで全力を尽くします。

【ビジネス計算競技 電卓 個人】

八戸商業高等学校 2年 佐藤 柑奈  
このたび、全国大会という貴重な舞台への出場権を獲得することができ、驚きと感謝の気持ちでいっぱいです。全国トップレベルの選手たちが繰り出す圧倒的なスピードや会場の雰囲気を感じ、多くのことを吸収できる大会にしたいと思っています。そして、この経験を今後の成長や来年につなげていきます。県予選では悔しい思いもあり、自分自身の課題や改善点が明確になりました。現在は、普通計算・応用計算ともに解ける問題数を増やせるよう、日々の練習に励んでいます。全国大会では、出場するからには一歩も引かず、自分のベストを尽くせるよう全力で挑みます。

【情報処理競技 団体】

弘前実業高等学校 3年 佐々木 柊哉  
私たちは、青森県予選会で団体の部で優勝し、全国大会出場を決めることができました。予選後は、全国大会の過去問題を解き、問題に慣れるようにしてきました。過去問題は、完全解答を求められるため、レベルの高さを感じています。また、問題の難易度に対して解答時間が短いため、効率よく問題を解くことが必要であることがわかりました。  
弘前実業として青森県の代表として、少しでも上の順位に入れるよう頑張ってきました。



【情報処理競技 個人】

八戸商業高等学校 3年 大石 晃士  
7月25日に千葉商科大学で行われる第38回全国高等学校情報処理競技大会へ出場します。県予選では、団体3位、個人3位という結果を取ることができました。個人3位となったことで全国大会への出場が決まり、学校だけではなく青森県の代表として大会に出る自覚と責任を持ち挑んできます。本番では実力を発揮して、悔いの残る結果とならないよう今までの活動の集大成として自己最高得点を目指します。

【情報処理競技 個人】

三沢商業高等学校 3年 小田 彪我  
7月25日、千葉商科大学で開催される第38回全国高等学校情報処理競技大会に出場します。予選では団体2位という悔しい結果となりましたが、個人では全国大会への出場権を獲得することができました。目標としていた団体優勝は叶いませんでしたが、これが最初で最後の機会だからこそ、楽しむことを忘れず悔いのない結果を目指します。引き続き全力で取り組んでいきますので、応援よろしく願います。

【簿記競技 団体】

三沢商業高等学校 3年 須藤 輝  
私たちは、第42回全国高等学校簿記競技大会青森県予選会で団体優勝し、千葉商科大学で行われる全国大会に出場することになりました。この結果を残せたのは、私たちを支えてくださった皆さんの存在があったからです。ありがとうございしました。私は全国大会へ2度目になります。前回は万全な体調で迎えることができなかったため、今回はしっかりと体調を整えて、悔いの残らない結果を出せるように頑張ります。



【簿記競技 個人】

弘前実業高等学校 3年 田中 聖真  
私は全国大会に出場することを目標として日々の練習に励んできました。練習では常に大会を意識し、時間の配分に気を付けていました。県予選の本番では緊張することなく、普段通りに問題を解くことができました。結果は団体で2位、個人で1位となりました。昨年に続き、全国大会で日々の練習の成果を発揮できるようにし、仲間の思いを背負って頑張ります。

【簿記競技 個人】

青森商業高等学校 3年 佐川 依央渥  
私は、7月24日に千葉商科大学で行われる第42回全国高等学校簿記競技大会に出場します。全国大会へ出場できるのも、日頃から支えてくれる周知の人や、切磋琢磨しながら予選会の練習に励んだ仲間のおかげです。  
予選会では、訂正のミスが目立っていたので、全国大会では正確に解くことを心掛けます。青森県代表の一員として、緊張せずに自分の力を発揮して、個人入賞という目標を達成できるように全力で取り組みたいです。

【ワープロ競技 団体】

三沢商業高等学校 3年 北向 陽太  
私たちは7月29日に東京都立産業貿易センター台東館・台東区民会館で開催される全国ワープロ競技大会に出場します。団体で全10位以内に入ることを目標に掲げ、日々練習してきました。本番では、これまでの努力を信じ、緊張に負けず、悔いが残らない結果を出せるよう全力で臨みたいと思います。私たちを支えてくださった皆さんの方のため、自分たちのために頑張ります。応援よろしく願います。



【ワープロ競技 個人】

八戸商業高等学校 3年 小比類巻 泉望  
私は今回の全国大会予選会で、個人第3位に入賞することができました。日頃から練習を積み重ねてきた成果を発揮することができ、とてもうれしく思っています。全国大会への出場は今回が初めてとなるため、緊張することもあると思いますが、落ち着いて最後まで集中し、自分の力を十分に発揮できるようにしたいです。予選会では緊張から思うように打数を伸ばすことができず、普段の実力を発揮しきれませんでした。その経験を生かし、全国大会では緊張に負けないこと、正確さと速度の両方を意識して入力し、納得のいく結果を残せるよう全力で頑張ります。

【ワープロ競技 個人】

八戸商業高等学校 3年 永田 倫  
全国大会予選会において、私は個人での全国大会の出場権を得ることができました。この結果は、切磋琢磨した仲間や支えて下さった顧問の先生方・家族の協力があつてこそその結果であり、心から感謝しています。全国大会予選会では、納得いく結果を残すことができず、悔しい思いをしたため、これからの練習で修正すべきところを改善し、万全を期した状態で全国大会に臨みたいと考えています。全国大会では、予選会で得た課題を一つ一つ克服し、自分の持てる力を最大限に発揮して、悔いのない結果にしたいです。また、支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、一つでも上位の成績を目指して最後まで全力で挑戦します。

全国大会頑張ってください!!

# 各校での取り組み紹介

## 下山学園高校

### つるた秋祭りにおけるスタンプラリー

本校3学年の課題研究の一環として、10月下旬に開催予定の「つるた秋祭り」でスタンプラリーを行う予定となっております。

この日は鶴田町役場企画観光課の方との打ち合わせを行いました。スタンプラリーの企画、スタンプのデザイン、販売する商品開発など、学年全体でグループ分けを行い、1つのイベントを完成させるために町の方々と協力しあいながら進めています。



色々な取組があって驚き！

## 八戸商業高校

### 八商バザーに向けた商品選定活動

本校では、総合実践の授業において八商バザーに向けた商品選定活動に取り組んでいます。生徒はグループごとにSWOT分析や市場調査を行い、来場者アンケートを基に客層の特徴やニーズを分析しました。その上で、STPやペルソナ設計を活用して販売戦略を立案し、主体的・協働的に商品を検討しています。今後は、価格設定やプロモーションの工夫を重ね、より効果的な販売活動へとつなげていきます。さらに、これまでの分析や戦略の過程を販売戦略企画書としてまとめ、会場で展示することで来場者へ発信します。一連の活動を通して、実社会に対応する思考力や実践力の育成を図っています。



## 三沢商業高校

### 地域活性化と社会貢献を目指した取り組み

地元企業と連携した商品開発を行い、三沢空港や各種イベントに加え、県外の商業高校での販売や東京アンテナショップでの販売にも挑戦しました。県外へ地域の魅力や地元商品の良さを発信する貴重な機会となりました。

また、収益の一部を活用し、福祉施設への車椅子寄付を実施するなど、地域貢献の大切さを学びました。

今後も地域とのつながりを大切にし、地域活性化や社会貢献につながる活動に積極的に取り組んでいきます。



## 青森商業高校

### 情報処理講話・起業家講話・公認会計士講話

本校では、1学年を対象に、将来の進路や職業について考える機会として、「情報処理講話」「起業家講話」「公認会計士講話」を実施しています。

情報処理や簿記など、本校で学ぶ内容が実社会や職業とどのようにつながっているのかを知り、ビジネスを学ぶ意義を理解する機会となっています。また、各分野で活躍する講師の経験や考えに触れることで、生徒の学習意欲や進路意識を高める貴重な機会となりました。



<情報処理講話>



<起業家講話>



<公認会計士講話>

## 弘前実業高校 学科集会

例年行われている商業科及び情報処理科の3学年計9クラスによる学科集会を今年度も開催しました。各学年2人ずつの6人グループを作り、3年生は今までの経験を伝え、1・2年生は現在抱えている悩みを相談したり、これから挑戦しようとするに対してアドバイスをもらっていました。

## 黒石高校

### 101年目の黒石高校！

### 情報デザイン科

### 「学科間、市との連携の強化」



黒石高校情報デザイン科は本科スローガン「地域共創・未来創造」を胸に、これまでに数多くの産学官連携を経験してきました。



昨年度創立100周年を迎え、新たな100年に向けた歩みの第一歩となる令和8年度は、本校看護科との連携事業や、黒石市の課題解決等、私たち情報デザイン科が設置されている学校、そして学びを支えてくださっている地域との共創活動に重点的にフォーカスし、これを強化することで、より骨太な黒石高校情報デザイン科を目指します。



## 総合実践特別講座

商業科3学年2クラスに対し、SMB Cコンシューマーファイナンス株式会社の田村氏から金融リテラシー教育を実施していただきました。生徒はお金について知りたいという欲求はあるものの、財務諸表を作成する技術だけに留まり、お金について理解していない生徒が多くいるのが現状です。講座を通し、より良く生きるための手段を身に付けられたのではないかと思います。